

**第三者割当による  
第2回新株予約権（行使価額修正条項付）  
発行に関する補足説明資料**

株式会社ASJ

証券コード：2351

2020年10月19日

1. 台風や水害、地震等の災害リスク対策・対応
  - ▶ 災害リスクへの対策やBCP対策を講じることで、リスク分散を行っていく必要があると判断
  - ▶ デュアル回線への接続を行い、AS\*1を形成する等、高度な環境を整備した新規データセンター設立を計画
2. Society5.0\*2やインダストリー4.0\*3の提唱により、あらゆる産業においてデジタルトランスフォーメーション\*4推進に向け、企業のマルチクラウド化\*5が進み、関連するサービスの需要が増加することが想定
  - ▶ 企業のデジタルトランスフォーメーション推進に向けた新規事業及び新規サービスの提供を計画



**今後の更なる発展に向け、積極的な事業投資を実施する必要があると判断**

\*1： ASとは「Autonomous System」の略で、自律システムと呼ばれます。AS間で経路情報の交換を行うことにより、インターネット上での効率的な経路制御を実現するものです  
\*2： Society5.0とは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）をいいます（内閣府ウェブサイトより）  
\*3： インダストリー4.0とは、第4次産業革命を指し、工場や生産プロセスにおいて生産設備等をインターネットを用いて相互に接続することによる自動化やデータ化等をいいます  
\*4： デジタルトランスフォーメーションとは、企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立することをいいます（経済産業省「デジタルトランスフォーメーションを推進するためのガイドライン（DX推進ガイドライン）Ver.1.0（2018年）」より）  
\*5： マルチクラウド化とは、複数のクラウドサービスを接続するクラウドサービスの利用形態をいいます

✓ 本件における資金使途は、新規データセンターの設立並びに新規事業及び新規サービスに係る開発投資資金です

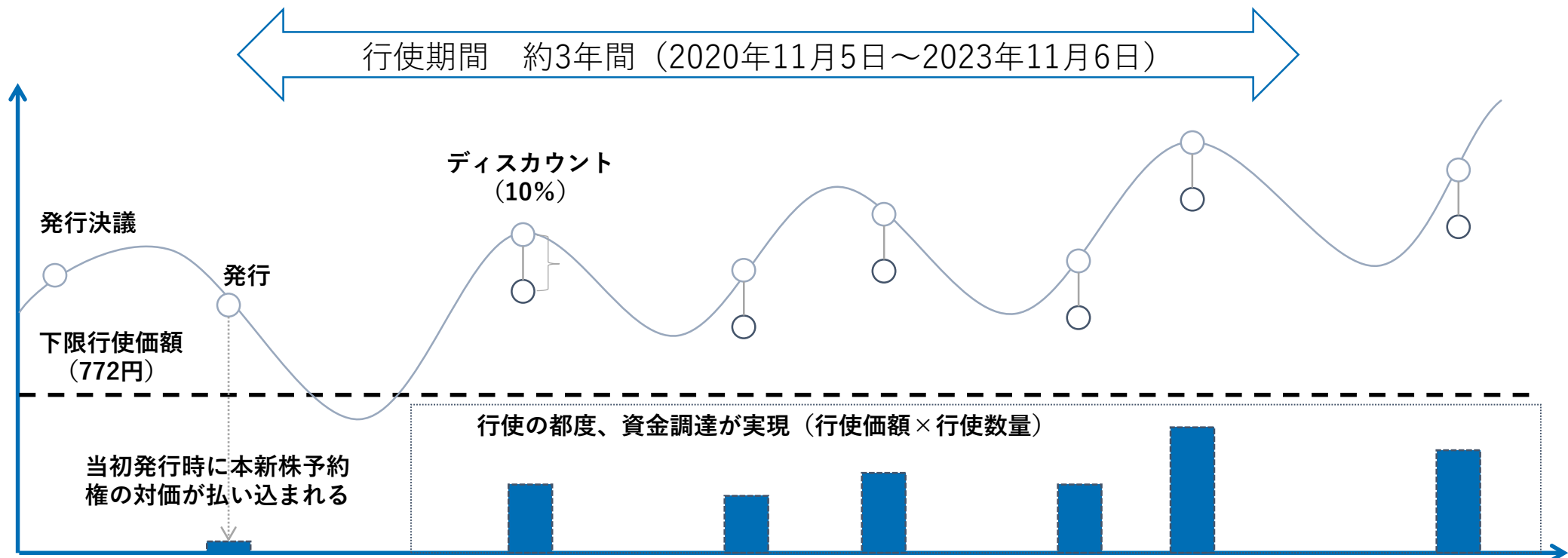
## 持続的成長及び企業価値の向上の実現を目指す

資金使途	充当予定金額 (百万円)	支出予定時期	詳細
① 新規データセンターの設立に係る設備投資資金	700	2021年4月～ 2024年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 兵庫県姫路市に設立することを計画</li> <li>➤ 竣工時期は2023年3月期中を予定</li> <li>➤ サーバ全般の設備及びそれに伴うセキュリティ全般設備等の設備を納入する予定</li> </ul>
② 新規事業及び新規サービスに係る開発投資資金	306	2021年4月～ 2024年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 研究活動及びソフトウェアの開発投資資金等の一部として充当する予定</li> </ul>

- ✓ 株価動向によらず、潜在株式数は910,000株（2020年3月31日現在の総議決権数に対し11.59%）で一定です

項目	第2回新株予約権
割当日	2020年11月4日（水）
新株予約権個数	9,100個
潜在株式数（最大希薄化率）	910,000株（2020年3月31日現在の総議決権に対し11.59%）
資金調達額	1,006,829,000円（差引手取概算額）
行使可能期間	2020年11月5日（木）～2023年11月6日（月）
割当先及び割当方法	SMBC日興証券に第三者割当
当初行使価額	1,102円
上限行使価額	なし
行使価額修正	行使請求の効力発生日の前取引日の普通株式の普通取引の終日の売買高加重平均価格（VWAP）の90%に相当する金額に修正
下限行使価額	772円（発行決議日の直前取引日の終値×70%）

- ✓ 割当先（SMBC日興証券）は、市場動向・投資家動向を踏まえた上で行使請求を行うことができ、当該行使に係る株式の対価として代金（行使価額）を払い込みます（**権利行使により徐々に資金調達が実現**）
  - 行使価額は、行使請求の効力発生日の直前取引日の売買高加重平均価格（VWAP）の90%に相当する価格に修正されます（行使価額修正条項）
  - 修正後の価額が下限行使価額を下回った場合、下限行使価額が行使価額となります（本新株予約権の行使は想定されない）
- ✓ 割当先（SMBC日興証券）は、本新株予約権の行使によって得た株式を株価動向等を勘案し適宜売却していく方針です



（注）：上記はイメージであり、当社株価が上記のとおり推移することをお約束するものではありません。

## 質問

## 回答

今回の資金調達スキームを選んだ理由は？

SMBC日興証券より提案を受けた本資金調達の手法及びその条件は、既存株主の利益に配慮し当社株式の急激な希薄化を抑制するとともに、株価動向等を見極めながらエクイティ性資金を調達し、当該資金により、当社グループにおける新規事業、研究開発及びサービスへの投資を行う等、継続的な成長戦略を推進するという当社のニーズに最も合致しているものと判断しました。

本スキームの主な特徴は？

行使可能期間において本新株予約権の行使が進むことで当社の資金調達及び資本増強を図りつつ、当社の資金需要や株価動向等を見極めながら当社の判断により行使停止期間を指定して資金調達の時期や行使される本新株予約権の量をコントロールすることが可能となります。

本資金調達スキームのメリットは？

①行使努力義務及び行使停止指定条項：SMBC日興証券は本新株予約権を行使するよう最大限努力する義務を負うため速やかな行使が期待され、また、当社は、当社の判断によりSMBC日興証券に対して本新株予約権を行使しないよう要請することができ、資金調達の時期や行使される本新株予約権の量を一定程度コントロールすることが可能となります。②希薄化：本新株予約権の目的である当社普通株式の数は910,000株で一定であるため、株価動向によらず、本新株予約権の行使の結果交付されることとなる当社普通株式数が限定されていることにより、希薄化を限定し、既存株主の利益に配慮することが可能となります。③下限行使価格：本新株予約権には下限行使価額が設定されているため、株価下落時における当社普通株式1株当たり価値の希薄化というデメリットを一定程度に制限できることで、既存株主の利益に配慮した資金調達が可能となります。④新株予約権の取得事由：新株予約権の取得が必要と当社取締役会が決議した場合、当社は、本新株予約権の発行日の翌日以降、当社取締役会で定める取得日に、本新株予約権1個当たりにつきその払込金額と同額を交付して、残存する本新株予約権の全部又は一部を取得することが可能となります。

## 質問

## 回答

本資金調達スキームのデメリットは？

①SMBC日興証券が本新株予約権を行使した場合に限り、その行使された本新株予約権の個数に行使価額を乗じた金額の資金調達がなされるものとなっているため、満額の資金を短期間で調達することは困難です。②発行要項に記載された内容に従って行使価額が修正されるものであるため、SMBC日興証券が本新株予約権を全て行使したとしても満額の資金を調達できない可能性があります。③SMBC日興証券のみに対する第三者割当であるため、資金調達を行うために不特定多数の新投資家を幅広く勧誘することが難しくなっています。④株価や出来高等の状況によっては権利行使が進まず、資金調達及び資本増強が予定どおりに達成されない可能性があります。また、当社は、2023年11月6日に、その時点でSMBC日興証券が保有する本新株予約権の全部を、本新株予約権1個当たりにつきその払込金額と同額で直ちに買い取る義務を負います。⑤本新株予約権の行使による希薄化が限定された場合においても、本新株予約権全てが行使されるとは限らないため、行使終了まで最終的な希薄化率を確定させることができません。

希薄化の規模は？

本新株予約権の全てが行使された場合には、2020年3月31日現在の総議決権数78,511個に対して11.59%の希薄化が生じます。なお、本新株予約権の行使の結果交付されることとなる当社普通株式については、当社の株価動向や財務状況を考慮しつつ、自己株式を活用することも都度検討してまいります。



## 質問

## 回答

公募増資等と比較して株価への影響は？

公募増資による当社普通株式の発行は、短期間で多額の資金調達を行うことが可能ではあるものの、同時に1株当たり利益の希薄化も短期間に大きく引き起こされるため、株価に対する直接的な影響がより大きいと考えられます。

割当先としてSMBC日興証券を選んだ理由は？

当社はSMBC日興証券以外の金融機関からも資金調達に関する提案を受けたが、SMBC日興証券より提案を受けた本資金調達の手法及びその条件は、既存株主の利益に配慮し当社株式の急激な希薄化を抑制するとともに、株価動向等を見極めながらエクイティ性資金を調達し、当該資金により、当社グループにおける新規事業、研究開発及びサービスへの投資を行う等、継続的な成長戦略を推進するという当社のニーズに最も合致しているものと判断しました。また、十分な信用力を有すること、国内外に厚い顧客基盤を有する証券会社であり、当社が2016年6月7日に発行した第1回新株予約権（行使価額修正条項付）における行使実績等からも今回発行を予定している本新株予約権の行使により交付される普通株式の円滑な売却が期待されること等を総合的に勘案して、SMBC日興証券への割当てを決定しました。

もし株価が下落し続けた場合はどうなりますか？

本新株予約権には下限行使価額が設定されているため、株価下落時における当社普通株式1株当たり価値の希薄化というデメリットを一定限度に制限できることで、既存株主の利益に配慮した資金調達が可能となっています。具体的には、本新株予約権の下限行使価額を772円（発行決議日の直前取引日の終値の70%に相当する金額）に設定しました。



## 質問

## 回答

業績への影響は？

2020年5月15日付「2020年3月期 決算短信[IFRS]（連結）」にて公表いたしました2021年3月期の連結業績予想に変更はありません。なお、今回の調達資金は、記載の用途に充当することにより、将来の業績に寄与するものと考えております。

貸借契約を締結する予定とあるが、割当予定先が空売りをして、株価を下落させる懸念は無いのか？

割当予定先であるSMBC日興証券には、日本証券業協会の定める「第三者割当増資等の取扱いに関する規則」の定めに準拠して割当てが行われると同時に、当該定めに準拠した当社普通株式の取引を行うものと考えられる他、株価へ十分に配慮したオペレーションが行われるものと考えております。また、当社が新株予約権の行使停止要請通知を行うことにより、SMBC日興証券は新株予約権を行使することが出来なくなる設計となっており、当社が権利行使のタイミング等を一定程度コントロールすることが可能な仕組みとなっております。

- ✓ 本資料は、株式会社ASJ（以下、当社という）を御理解頂くために作成されたものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
- ✓ 本資料に掲載されている将来の見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因の変化等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。将来の見通しに関する記載について、当社はいかなる表明や保証をするものではなく、またこれを更新する義務を負いません。
- ✓ 将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさを内在しております。
- ✓ 今後、新たな情報や将来の出来事等が発生した場合でも、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新、修正を行う義務を負うものではありません。
- ✓ 本資料の内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複製及び無断転載はご遠慮下さい。